

やまなし 交通安全情報

164号

財団法人 山梨県交通安全協会
財団法人 山梨県交通安全協会各支所

発行所
山梨県交通安全活動推進センター
TEL 055-260-5550
〒400-0202 南アルプス市下高砂847
(ホームページ)
<http://www.yin.or.jp/user/ankyoku/>

甲府交通安全協会
韮崎交通安全協会
南部交通安全協会
富士吉田交通安全協会

南甲府交通安全協会
北社交通安全協会
笛吹交通安全協会
大月交通安全協会

南アルプス交通安全協会
鯉沢交通安全協会
日下部交通安全協会
上野原交通安全協会

自動車安全運転センター山梨県事務所
社団法人・山梨県バス協会
山梨県二輪車安全普及協会
中日本高速道路株式会社八王子支社

社団法人・山梨県トラック協会
社団法人・山梨県自動車整備振興会
山梨県自転車軽自動車商協同組合

山梨県タクシー協会
山梨県軽自動車協会
社団法人・山梨県建設業協会

CONTENTS

| | | | |
|-----|------------------|---|-----------------|
| 2 | 全座席でシートベルト着用義務づけ | 6 | 八木吉治会長の就任挨拶 |
| 3 | 交通安全功労者等を表彰 | 7 | 和田博夫副会長が警察協力章受章 |
| 4 5 | 各地区安協の活動 | 8 | 協賛団体の交通安全情報 |

秋の全国交通安全運動 9月21日から30日

高齢者の事故防止徹底



9月30日(火)は 交通事故死ゼロ を目指す日

交通死亡事故は記録に残る昭和43年以降、毎日発生しています。
一人ひとりが交通ルールを守り、交通マナーを実践し、交通事故のない安全で安心な社会を楽しみましょう。

街頭活動で交通安全を呼び掛ける
上野原交通安全協会役員ら
—上野原市上野原の国道20号

秋の全国交通安全運動が九月二十一日(日)から三十日(火)までの十日間実施されます。県内では山梨県交通安全対策本部と山梨県交通対策推進協議会が主催して展開されます。十九日(金)には県庁で出発式も行われます。

運動のスローガンは「運転は人に社会に 思いやり」。本格的な高齢社会への移行に伴う高齢者の交通事故情勢に的確に対処するため、「高齢者の交通事故防止」を全国共通の運動基本に定めました。さらに①すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止③飲酒運転の根絶の三点を運動の重点に、全国一斉に交通安全運動を展開、県内でも十二の地区安協、各警察署などが呼びかけ、各地域で「高齢者の事故防止」に向け、啓発活動を展開します。



広げよう どうぞの気持ちと 車間距離
歩行者を 気づかひやさしく 踏むペダル
点めつだ 一度止まって 次の青

後部座席の同乗者もシートベルトを!

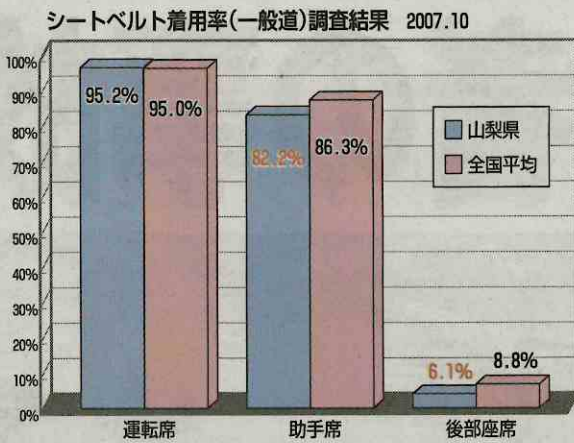
非着用致死率、着用の3倍

時速50kmでの衝突実験(出典 JAFユーザーテストより)



本年六月一日から道路交通法が改正され、後部座席を含む全ての座席でのシートベルト着用が義務化となりまし

ト着用が義務化となりまし。当面、高速自動車道、自動車専用道路で後部座席非着用に対し、行政処分の基礎点数を一点付加としています。昨年十月、警察とJAF(社)日本自動車連盟)で行ったシ



なぜ後部座席も?

シートベルト着用による交通事故時の被害軽減効果は非常に高いことから、警察においては、これまでも、シートベルトの着用率の向上に向けた取り組みを推進してきました。

しかしながら、運転席や助手席の着用率が高い水準で推移している反面、後部座席の着用率は依然として低調な水準で推移していることや

非着用に伴う危険

平成十九年の全国の交通事故において、後部座席同乗者の死者数二百人のうちシートベルト非着用者は百六十八人で、後部座席における非着用者の致死率は着用者の致死率の約三倍となっています。また、非着用者のうち車外放死者数は四十三人で非着用死

大切な命を守るために

JAFが実施した「後部座席シートベルト着用しない理由」のアンケート調査(複数回答)結果によると、前席と比べ装着しづらいから(42.2%)「窮屈だから」(37.2%)「シートベルトをするのが面倒」(34.0%)「点数がつかない」(30.3%)「後席は危険性が低い」(18.1%)などが理由として挙がっています。自分だけは大丈夫「事故に遭っても、そんな大きなケガはしないはず」などと思っているのは大きな間違いです。

前述のとおり、事故のデタや衝突実験結果から非着用には大きな危険があることを理解していただき、シートベルトの着用を徹底してください。たった一つのかげがえのない「命」です。シートベルトを面倒がったり、窮屈だからと着用しないことで、家族の、友達の命を失いますか? 車に乗ったら、まず前も後ろもシートベルトを着用しましょう。それが、「命」を守る第一歩です。

山梨県警察交通部から

全体が四年連続減少する中で、自転車事故は増加傾向にあります。これら自転車事故を類型で見ると、出会い頭(56.1%)と右左折

高齢者(14.8%)、中学生(10.9%)、小学生(10.6%)となっています。したがって、事故防止の指導ポイントは「交差点での一時停止

当然「交通ルールを遵守する義務」があります。子どもでも理解できるように基本的ルールを端的に示した「自転車安全利用五則」が

三、歩道は歩行者優先。車道寄りを徐行
四、安全ルールを守る
○飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
○夜間はライト点灯
○交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

「自転車安全利用五則」の周知徹底を

県警交通部参事官 深澤 俊樹



五、子どもはヘルメットを着用
ご家族や地域・職場等、自転車利用者への指導・教示の参考としてください。

すべての自転車利用者が通行ルールを遵守する、これが事故防止上の最低限の条件です。県警では、まずは自転車車の通行ルール「自転車安全利用五則」の周知徹底を図るべく、広報啓発に努めております。



安全のために
昨年、県内では六千九百九十二件の交通事故が発生し、このうち自転車事故は七百五十二件で、約一割を占めています。自転車事故による死者数は六人で、前年比較では四人増加し、発生件数でも七十七件増加しました。交通事故

時の事故(21.4%)で八割近くを占め、原因別では交差点等での安全確認となりま

と安全確認、「右折や左折時の安全確認」とな

ありますので、これをここに紹介

一、自転車は車道が原則。歩道は例外
二、車道は左側を通行

平成21年1月4日から IC免許証を発行します!



特徴

- ・大きさは、変わらない。
- ・ICの分だけ厚くなる。
- ・本籍が空欄になる。
- ・4ケタの数字2種類の暗証番号が必要になる。

新年の最初の免許更新日は、窓口が大変混雑します。特に、平成21年1月4日は日曜日とも重なり、総合交通センターの来場者数が初めて1,000人を超えるだろうと予想しています。可能であれば、すいている平日の来場をお勧めします。

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内二丁目16-1
富士急ビル6階
TEL055-228-0691

ベルトの全席義務化徹底

県交通安全協会 事故死者ゼロへ一丸

財団法人山梨県交通安全協会が六月十二日、甲府市内のホテルで理事会・評議員会を開催しました。「六月一日、道路交通法の一部改正があり、シートベルトの全席義務化などが施行されました。シートベルトの着用は同乗者の命を守るためにも必要なこと。役員が率先して着用し、あらゆる機会に指導・教育を行っていただき、一人でも死者数を減少させるようご尽力願いたい」との会長挨拶がありました。議事では、平成十九年度事業報告や役員改選が行われ、いずれも承認されました。会議終了後、山梨県警察本部

長から退任の役員へ感謝状が贈呈されました。

新役員の顔ぶれ

▼会長 八木吉治▼副会長 伊藤重忠、和田博夫、小澤建雄、荻原公明▼参与理事 三枝力、渡邊日出男、北條繁友、依田倉蔵、小澤照彦、中村昌穂川保子

交通安全功労者等表彰式

主催 関東交通安全協会連合会



関東交通安全協会連合会から表彰された山梨県関係者
 さいたま市・ロイヤルパインズホテル

県内の功労者13人受賞

長年の献身的活動讃える 配偶者に感謝状

関東交通安全協会連合会から感謝状が贈られました。山梨県関係の受賞者は次の通りです(敬称略)。

▼交通功労者と夫人 大谷秀樹・真理子(甲府) 深澤米男・晶子(南アルプス) 深澤勝彦(韮崎) 高柳一元・七重(北杜) 樋口幸夫・楊淑芳(諏訪) 渡邊映一・いづ美(南部) 樋川保子・利男(笛吹) 広瀬勝男(日下部) 能登健二・紀美子(大月) 山崎多喜男・要子(上野原) 中村昌訓・はす江(県安協) 古屋俊仁・知子(県安協) 大久保公臣・静子(県安協)

▼優良交通安全協会 笛吹交通安全協会、大月交通安全協会

関東安協連合会

関東交通安全協会連合会(今井敬会長)は五月二十三日、埼玉県さいたま市のロイヤルパインズホテルで交通安全功労者等表彰式を開催しました。

受賞した人たちは、多年にわたり交通安全活動について献身的に尽力し多大な功績があった個人と団体です。功労者には、関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長連名による表彰とともに、その配偶者には

平成十九年度の事業計画に基づき①高齢者と子どもの交通事故防止②飲酒運転等悪質・危険な運転の追放③後部座席を含むシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底④早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進⑤運転中の携帯電話等使用禁止の徹底⑥自転車の交通事故防止の六点を活動の重点として、民間の交通安全団体の中核としての役割を果たしていくため、他の交通関係機関・団体と連携し、各事業を推進しました。

この結果、平成十九年度における県下の交通事故発生状況は、前年に比べ人身事故件数九十件、死者数九人、負傷者数百二十人とそれぞれ減少しました。特に死者数は、五十二人で、昭和三十三年以降最も少なく、また発生件数・負傷者とも四年連続減少させるなど大きな成果を上げました。

具体的な事業の内容については次の通りです。

平成19年度事業報告

事故件数、死者数、負傷者数が大幅減

交通安全活動の成果実る

▼各種交通安全運動等の実施
 平成十九年度5月11日～同年5月20日、①飲酒運転の追放②後部座席を含むシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底③後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底④3点を重点に各種の交通安全対策を実施。

▼夏の交通安全防止県民運動の実施
 平成十九年7月21日～同年8月20日、①高齢者と子どもの交通事故防止②飲酒運転等悪質・危険な運転の追放③後部座席を含むシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい着用の徹底④運転中の携帯電話使用等禁止の徹底⑤自転車の安全利用の推進⑥の推進⑦早めのライト点灯の徹底と反射材使用の推進⑧の5点を重点に各種の交通安全対策を実施。

▼広報、啓発活動等の実施
 「飲酒運転撲滅キャンペーン・ハンドルキーパー運動」事業に絡み新聞・ラジオによる広報やポスター・チラシ等を作成配布。交通安全情報紙「やまなし交通安全情報」の発行。交通安全教育用の資器材の整備と貸出し(酔っぱらい体験ゲームを各支所へ配置し交通安全教室等での活用、歩行者横断レーナー、シートベルトコンビンサー、交通安全教育用ビデオ及び映画フィルム、その他反射材視認機、ミニ信号機等)も交通安全教育用資材、ダミー人形等の無償貸出し。交通安全用の小冊子、ポスター、ステッカー、チラシ等の配布。年間を通じてインターネットによる交通安全広報、安協イベント等の紹介。企業・団体等からの要請に応じて講師を派遣し交通安全事故ゼロを目指す「日」の広報啓発の実施。

▼交通安全の各種大会の実施
 交通安全推進県民大会(平成二十年2月21日、白根桃源文化会館、700人参加)▼交通安全弁論大会(平成十九年10月17日、増穂町文化会館、中学生交通安全弁論大会を警察本部と共催)▼交通安全全県大会(平成十九年6月16日、山梨県総合交通センター)「自転車体験コース」、7月31日・8月1日の両日、優勝・高根東小学校、県代表として、全国大会に派遣、同校は、団体の部4位に入賞)▼高齢者自転車大会(平成十九年10月25日、山梨県総合交通センター)「自転車体験コース」▼二輪車安全運転山梨県大会の開催と全国大会への代表選手派遣(平成十九年6月23日、山梨県総合交通センター、8月4・5日の両日、代表選手を全国大会へ派遣) 身体障害者安全運転大会(平成十九年10月13日、山梨県総合交通センター)

▼その他交通安全対策の推進
 ①会員及び各地交通安全協会への支援、交通事故の相談制度、交通事故見舞金制度、Eメール会員への支援、運転免許ケース配布、交通安全グッズ配布
 ②自転車及び二輪車の交通安全対策の実施
 「自転車の交通安全対策」 ラジオ広報の実施、「自転車も乗ればドライバー」ポスター・チラシを作成し、自転車販売店と協力して自転車の購入者等に配布。小学生・中学生を対象とした自転車安全教室の開催。山梨交通バス路線の高校・大学前バス停看板20カ所に自転車の安全利用とTSMマーク普及及び告知の掲出。

③二輪車の交通安全対策 高校教師を対象とした二輪車安全運転指導員審査の実施、高校生を対象とした原付講習会の開催、原付免許取得時講習の実施。

④各種表彰及び感謝状の贈呈
 全日本交通安全協会会長及び警察庁長官連名表彰、関東管区交通安全協会連合会会長及び関東管区警察局長連名表彰、山梨県交通安全協会会長及び山梨県警察本部長連名表彰、山梨県交通安全協会会長表彰など。

▼秋の全国交通安全運動の実施
 平成十九年9月21日～同年9月30日、①飲酒運転の追放②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通安全防止③後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用と徹底④マナーアップによる交差点通行及び道路横断時の交通事故防止の4点を重点に各種の交通安全対策を実施。

▼年末の交通安全防止県民運動の実施
 平成十九年12月1日～同年12月31日、①飲酒運転等悪質・危険な運転の追放②高齢者と子どもの交通事故防止③後部座席を含むシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底④自転車の安全利用の推進⑤の5点を重点に各種の交通安全対策を実施。

甲府



支部ごとに啓発活動を実践

甲府安協では今夏、各支部ごとに活発な活動を展開しました。石田支部では交通少年団の第1回講習会を開催、子どもたちが交通ルールを学びました。夏休み前には児童対象に自転車の正しい乗り方講習会も開きました。中央支部ではカーブミラーの清掃や高齢者講習などを実施しました。貢川支部では街頭指導、千塚支部は「安全安心街づくりの集い」で交通安全講話を行うなど、各地区で安全へのさまざまな取り組みを進めました。



富士吉田



富士山観光の拠点で街頭指導

富士吉田安協は行楽シーズン中の8月、観光拠点で街頭指導を展開しました。富士吉田警察署管内は富士山を控え県内屈指の観光地として夏には全国から大勢の観光客が押し寄せます。街頭指導は河口湖ハーブ館、道の駅富士吉田、道の駅なるさわなど5カ所で安協役員ら約80人が出動しました。



南甲府



街頭指導で啓蒙品を配布

南甲府安協は夏の交通事故防止県民運動の一環として、中巨摩郡昭和町の昭和バイパス中央道高架橋下で街頭指導を行いました。「シートベルトの着用」「運転中の携帯電話使用禁止」をハンドプレートで掲示しながら、ドライバーにふくろうバッグやチラシなど啓蒙品を配布、交通事故防止を訴えました。



大月



300軒を訪問し啓発活動

大月安協は夏の交通事故防止県民運動の一環としてJR大月駅で駅頭指導を行いました。安協役員や大月警察署員など交通関係団体の関係者約30人が反射材やチラシなどを配布しながら交通安全を呼び掛けました。また、「出前式交通安全活動」も大月市富浜町と都留市下谷で行い、約300軒を訪問し啓発活動を展開しました。



南アルプス



南アルプス市交通安全協会女性部研修会

事故防止へ女性部100人が研修

南アルプス安協は女性部研修会を開きました。女性部役員約100人、男性役員約10人が参加。夏休み期間中の「子ども見守り活動」について研修し、日常生活の挨拶の大切さなどを学びました。全席シートベルト着用義務化など街頭指導上の重点などの講習もありました。



上野原



街頭指導で交通事故防止呼び掛け

上野原安協は夏の交通事故防止県民運動の一環として出発式と街頭指導を実施しました。上野原市役所駐車場で出発式を行った後、神奈川県との県境となる国道20号に街頭指導所を開設、ドライバーらに啓蒙品を配り、事故防止を訴えました。



南部



啓発団扇を作成 特産の竹で容器

南部安協は夏の交通事故防止県民運動に合わせて運動の重点を記した団扇を作成しました。南部町特産の竹を使って容器を作り、団扇とともに南部警察署管内の金融機関35カ所に配布、窓口のカウンターなどに置いてもらい、事故防止を呼び掛けました。



韮崎



地元高校生へ反射材寄贈

韮崎安協は駅伝で好成績を収めている韮崎高陸上部に夕方の練習時の安全を確保してもらおうと反射材を贈りました。贈呈後には同高で交通安全教室も開講しました。また、夏休みに合わせて街頭指導を竜王、敷島、双葉の旧3町で実施。安全を呼び掛けるリーフレット1000枚を作成し配布しました。



笛吹



夏祭りの交通整理に大活躍

笛吹安協は夏祭りが目白押しの市内で見物客の安全を守るため、交通整理に出動、大活躍でした。石和町の小林公園を中心に行われた二十日祭には約50人が歩行者を誘導。また、第44回石和温泉花火大会では約100人が出動し、見物客の安全を確保しました。



北杜



啓発団扇がドライバーに大好評

北杜安協は観光客が増える夏、清里などで街頭キャンペーンを展開しました。夏の交通事故防止県民運動の重点を記した団扇200本を用意、わずか20分で配り終えました。また、北杜市社会福祉協会を通して反射材付杖150本を高齢者に寄贈しました。秋の全国交通安全運動には毎年好評の女性部手作りのマスコット1000個がドライバーに配布されます。



日下部



街頭指導で全席ベルトの着用訴え

日下部安協は夏の交通事故防止県民運動の一環として街頭指導を行いました。日下部警察署前の国道140号で、安協役員や日下部警察署員、山梨市職員ら約45人が出動し、反射タスキやウエットタオルなど啓発品を配布しながら安全運転や全席シートベルト着用などを呼び掛けました。



鯉沢



「神明の花火大会」で大活躍

鯉沢安協は県内最大の「神明の花火大会」で街頭に出て鯉沢警察署員と協力し、交通整理に大忙しでした。市川三郷町と増穂町の安協役員約70人が出動、花火見物に訪れた大勢の人たちの安全を守りました。夏を前に増穂町最勝寺では分会役員らが交通誘導を学びました。



安協会員入会のお願い

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力をいただいた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な交通事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させていただいております。

交通安全協会会員の皆様への支援

弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。

詳しくは、山梨県交通安全協会 (☎055・280・5550) にお問い合わせください。

交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が生じた場合は、20万円を限度とした見舞金を交付しております。

免許証ケース及び交通安全グッズの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑り止めのついた免許証ケースを進呈します。

Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

「ハンドルキーパー運動」推進中

ハンドルキーパー運動とは?

自動車で仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が、仲間を自宅まで送り届ける運動です。

山梨県交通安全協会では、山梨飲食業協同組合をはじめとする関係者のご協力を得ながら飲酒運転の根絶を目指して、「ハンドルキーパー運動」を推進しています。



今日のハンドルキーパーは私です!!



【問い合わせ先】 県民生活課 交通安全担当 (☎055・2223・1355)

山梨県交通安全協会は、多くの会員や歴代の会長が脈々と続く伝統を守り、その事実の蓄積により、確固たる基盤を築きあげ民間の交通安全活動の中核的団体として活動しております。その団体の会長に就任し、責任の重さを痛感している所でございますが、県警察のご指導のもと、県民の皆様をはじめ関係機関、団体のご支援、ご協力をいただき協会発展のため、その重責を果たしてまいります。

社会が確立されつつあり、平成二十四年までに交通事故死者数を五千人以下に抑え込むという政府目標の達成に向けてまいります。

結びになりましたが、皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、ごあいさつさせていただきます。

会長就任ごあいさつ

財団法人 山梨県交通安全協会

会長 八木 吉治



当協会といたしましては、交通事故の減少が県民への究極の公共サービスであると認識し、健全な交通社会実現のため、時代や環境の変化を敏感に感じ取り、新しい時代にふさわしい活動を展開し、県民の期待に応え、さらに公益法人としての役割を充分認識し、県民の皆様にも理解、ご信頼いただける交通安全協会となるような活動をしてまいります。

成も現実性を帯びてまいりました。しかし、交通事故が減少しているとはいえ、まだまだ多くの尊い人命が他人の不注意によって奪われている現状を鑑みますと、交通事故の抑止は、引き続き県民の安全・安心にとって最大の課題であります。

爽やかな季節を迎え、虫の音美しい秋の気配が次第に濃くなってまいりましたが、皆様方には、健康やかに過ごされることとお慶び申し上げます。

過日開催されました山梨県交通安全協会定期理事会におきまして、会長に選任いただきました八木でございます。

犯罪・交通事故などの被害で悩んでいませんか?



たった一人で悩まないで.....。話してみませんか。あなたの心の声を!

電話相談 **055-228-8622** 受付10:00~16:00(土・休日は除く)

秘密厳守・相談無料

(社)被害者支援センターやまなし

事務局 055-228-8639

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~shienyam/>

E-mail sien-yamanashi@comet.ocn.ne.jp

賛助会員募集中

支援センターの活動は、センターの事業に賛同をいただいた皆様からの寄付金や賛助会費で運営されています。



JR甲府駅前で行われた自転車安全利用推進のキャンペーン(6月20日)

【県からのお知らせ】 山梨県は交通安全に関する講習会を以下の通り実施しています。企業・団体・グループなどをご希望に沿って「出張講習」を行います。お気軽に連絡してください。

◆高齢者事故防止対策(シートベルト講習会(高齢者対象)) シートベルトの使用効果と正しい着用方法及び高齢者の交通事故の特徴について講習します。◆高齢者保護講習会(その他の世代対象) 高齢者の交通事故の特徴、身体特性・行動特性について、講習・高齢者疑似体験、啓発映画の上映も行います。

毎週日「自転車の日」危険、迷惑運転追放へ県と県交通対策推進協議会「自転車安全利用」に重点的に取り組んでいます。毎月「20日」(「2」は二輪の「二」)「0」は「輪」を「自転車安全利用推進の日」に設定。交通安全運動などを通じて安全利用の呼び掛けとともに、継続的な啓発活動を実施しています。

六月二十日には、JR甲府駅駐輪場で、県警察本部、甲府警察署、甲府市、甲府駅周辺の高校の先生方にも参加してもらい、啓発品を配布、自転車の安全利用を訴える街頭キャンペーンを展開しました。今後、交通安全協会をはじめ関係機関・団体と協力し、安全利用を呼び掛けていきます。

【県からのお知らせ】 山梨県は交通安全に関する講習会を以下の通り実施しています。企業・団体・グループなどをご希望に沿って「出張講習」を行います。お気軽に連絡してください。

高い無事故率

早く優しい地元のための教習 山梨県公安委員会指定

岳麓自動車教習所

富士吉田市新西原5-1 ☎0555-22-1689 普一、大型一・二、大特 けん引、自二 (合宿施設有)

高根東小Aが団体12連覇

子供自転車大会 個人は岡航君(高根東A)

第三十九回交通安全子供自転車大会が山梨県交通安全協会と山梨県警察本部の共催で六月十四日、山梨県総合交通センターで開かれました。団体部門では北杜市立高根東小Aチームが連続十二回、通算三十回目、個人部門では高根東小Aの岡航君(学科満点)が優勝しました。



74人の児童が参加した交通安全子供自転車山梨県大会
—山梨県総合交通センター—

大会は自転車安全教育競技を通じ児童に交通安全について興味と関心を高めるとともに交通安全知識を身に付けてもらい、さらにその習慣化を図ることにより交通事故防止の目的を達成しようとする毎年開かれています。

県内の各地区代表十校十五チーム七十四人の選手が参加して、学科六百点、実技六百点、合計千二百点からの減点方式で競いました。

学科の満点者は七名で県安協より賞品を贈りました。同校は八月八日、山梨県代表として東京ビックサイトで開かれた第四十三回交通安全子供自転車全国大会へ出場、団体の部で十五位と健闘しました。主な成績は次の通り(敬称略)。

◆団体部門
▼優勝(県警本部長・県安協会長賞、知事賞、関東管区局長・関東安協連合会会長賞)高根東小Aチーム
▼準優勝(県警本部長・県安協会長賞、県議会議長賞)安協会長賞、県議会議長賞)

▼敢闘賞 山城小Bチーム、八田小、北新小Aチーム、春日居小、明見小Bチーム
◆個人部門
▼優勝(県警本部長・県安協会長賞)岡航(高根東小)
▼準優勝(県警本部長・県安協会長賞)原佑輔(高根東小)

▼第三位 丸茂一貴(高根東小)▼第四位 高瀬勇太(高根東小)▼第五位 安達鈴(高根東小)▼第六位 中嶋咲子(高根東小)▼第七位 浅川玲奈(高根東小)▼第八位 内藤幹久(高根東小)▼第九位 大森蒼生(鵜沢小)▼第十位 望月幸季(鵜沢小)
【満点賞】岡航、原佑輔、石井郁也、安達鈴、小池菜子、浅川玲奈、小宮山優生(以上高根東小)

参加者は日ごろ、二輪車を利用してのライダーで、今大会には三十四人が参加し、一般B(400ccを超えるもの)、一般A(400cc以下)、高校生等(50cc)、女性(50cc)の4クラスで法規走行と技能走行で運転技術、正確性などを競い合いました。

各クラスの優秀者は八月二・三日の両日、三重県鈴鹿サーキットで開催された第四十一回二輪車安全運転全国大会へ出場、団体で二十位と健闘しました。入賞者及び全国大会出場者は次の通りです。

◆一般Bクラス▼優勝(知事賞)鈴木東▼準優勝(県安協会長賞)助松行夫▼第三位(県安協会長賞)佐々木隆市
◆一般Aクラス▼優勝(県議会議長賞)平野裕幸▼準優勝(県安協会長賞)山口慶一▼第三位(県安協会長賞)竹沢秀一
◆高校生等クラス▼優勝(県警本部長・県安協会長賞)望月翔弥▼準優勝(県安協会長賞)武川健太▼第三位(同)飯田勇気
◆女性クラス▼優勝(県安協会長賞)長田千佳▼準優勝(県安協会長賞)長田千佳

二輪車安全運転大会 鈴木東さんが一般Bで優勝

第三十八回二輪車安全運転山梨県大会が、山梨県交通安全協会、山梨県二輪車安全運転推進委員会の共催で、六月二十一日、山梨県総合交通センターにおいて、競技を通じて二輪車の安全運転の技術と交通徳の向上を図ることを目的に開かれました。一般Bクラスで鈴木東さんが優勝しました。

参加者は日ごろ、二輪車を利用してのライダーで、今大会には三十四人が参加し、一般B(400ccを超えるもの)、一般A(400cc以下)、高校生等(50cc)、女性(50cc)の4クラスで法規走行と技能走行で運転技術、正確性などを競い合いました。

◆一般Bクラス▼優勝(知事賞)鈴木東▼準優勝(県安協会長賞)助松行夫▼第三位(県安協会長賞)佐々木隆市
◆一般Aクラス▼優勝(県議会議長賞)平野裕幸▼準優勝(県安協会長賞)山口慶一▼第三位(県安協会長賞)竹沢秀一
◆高校生等クラス▼優勝(県警本部長・県安協会長賞)望月翔弥▼準優勝(県安協会長賞)武川健太▼第三位(同)飯田勇気
◆女性クラス▼優勝(県安協会長賞)長田千佳▼準優勝(県安協会長賞)長田千佳

賞)大隈満純▼第三位(県安協会長賞)水石麻耶
■全国大会出場者 鈴木東(二輪車安全運転)山口慶一(一般Aクラス)望月翔弥(高校生等クラス)長田千佳(女性クラス)



宮城直樹山梨県警察本部長から表彰状を受け取る和田博夫さん(写真左) —山梨県警察本部



和田 博夫さん

警察庁長官から贈られる警察協力章を県交通安全協会副会長の和田博夫さんが受章しました。伝達式が山梨県警察本部で行われ、和田さんは宮城直樹本部長から賞状を手渡されました。

警察協力章は長年にわたって警察活動に協力し、功績があった警察外部者に贈られます。和田さんは、一九八七年に上野原交通安全協会榎原支部役員に就任。九一年から同支部長、九九年から上野原交通安全協会会長、昨年からの山梨県交通安全協会副会長を務めています。受章は二十年以上にわたって交通安全協会役員として熱心に努めた活動が高く評価されました。

和田さんは「身に余る光栄です。これを機会に地域の交通安全にさらに貢献していきたい」と喜びを語っています。

和田博夫副会長が警察協力章

警察庁長官贈呈 長年の安協活動へ評価

山梨県教育委員会は八月二十日、山梨県交通安全協会、山梨県二輪車安全推進委員会の協力で高校交通安全教育指導者講習会を山梨園芸高校の大型機械試験場で行いました。

講習は、県内の高校の交通安全担当教師が学校での交通安全指導を適切に行うため毎年夏休みの期間中に行われ、今年で十三回目の開催となりました。

先生たちは二輪車安全運転指導員から進路変更、ブレーキの操作、故障車両の側方通過、信号交差点の二段階右折など実技指導、高校生に対する指導方法などの説明を受け、高校内限定の指導員審査を受けました。審査に合格した教師は二学期からバイク通学の生徒を中心に安全指導を行います。



二輪車の安全運転指導を受ける高校教師ら —山梨園芸高

DS Drive Safety

山梨中央広告社グループ
YAMABASHI ADVERTISING TRANSPORT CO.
株式会社 山梨広告運送
中央市西新居330-7
TEL.055-274-3822 FAX.055-274-3842
http://www.yamanashi-oriokomi.com



4クラスに分かれて開かれた二輪車安全運転大会 —県総合交通センター

山梨県軽自動車協会

軽自動車の普及状況について

軽自動車の現在の規格は、平成10年の規格変更にもない新規格車として、発売され10年が経過し、「経済性」や「普段の足」としての軽自動車の特性を活用した結果、全国の保有台数は、平成20年3月末で全自動車の30%を超える2546万台を数えこの傾向は、今後も維持されるものと思われます。

全国軽自動車協会連合会の調べでは、平成19年3月末現在の100世帯当たりの軽自動車の普及台数は、47.9台と平成18年3月末の46.8台から1.1ポイント上昇したところです。このように軽自動車は、昭和52年に100世帯に20.2台、昭和63年に100世帯に31.9台、平成12年に100世帯に40.8台と上昇傾向を続けております。

山梨県の軽自動車の保有台数は、平成20年3月末では27万9千台を超え平成19年3月末では、100世帯あたり82.8台と全国で9位となっています。ちなみに、軽普及台数の上位の県は、1位は鳥取県の95.2台、2位が島根県の93.4台、3位が佐賀県の93.2台となっており、東京の10.7台に対し鳥取県では約9倍となっています。軽普及下位は東京の10.7台、2位は神奈川県18.9台、3位は大阪の25.6台となっており、いずれも公共交通機関が発達している都会となっています。

このように、軽自動車への依存度は、都市規模別構成比では10万人未満の市町村で48%と約半数が保有している結果となっています。また、女性の軽自動車ユーザーは就業率が高く、働く女性を軽自動車が支えているとともに軽乗用系ユーザーの60歳以上の高齢者比率がここ10年間で7%から22%と約3倍に増加している状況にあります。

軽自動車の社会的存在意義は、交通不便地域の足として、働く女性にとって通勤や買い物に不可欠で生活を支える必需品、高齢者にとっては、買い物や病院など日常用途で使用する事が多く経済性などで選択されている状況となっています。

保有台数と世帯当たり普及台数

| | 軽自動車保有車両数 | | 世帯数 | | 100世帯当たり台数 | | |
|-------|-----------|------------|---------|------------|------------|------|-----|
| | 山梨県 | 全国 | 山梨県 | 全国 | 山梨県 | 全国 | 順位 |
| 平成12年 | 213,473 | 19,323,946 | 306,705 | 47,419,905 | 69.6 | 40.8 | 14位 |
| 平成13年 | 221,610 | 20,041,396 | 310,247 | 48,015,251 | 71.4 | 41.7 | 14位 |
| 平成14年 | 230,174 | 20,777,525 | 313,041 | 48,637,789 | 73.5 | 42.7 | 12位 |
| 平成15年 | 238,602 | 21,492,291 | 316,304 | 49,260,791 | 75.4 | 43.6 | 11位 |
| 平成16年 | 246,847 | 22,264,836 | 319,146 | 49,837,731 | 77.3 | 44.7 | 10位 |
| 平成17年 | 254,728 | 23,091,503 | 321,970 | 50,382,081 | 79.1 | 45.8 | 9位 |
| 平成18年 | 263,059 | 23,896,947 | 325,265 | 51,102,005 | 80.9 | 46.8 | 9位 |
| 平成19年 | 271,780 | 24,756,432 | 328,309 | 51,713,048 | 82.8 | 47.9 | 9位 |
| 平成20年 | 279,096 | 25,462,886 | 330,911 | 52,324,877 | 84.3 | 48.7 | 8位 |

全軽自協各年3月31日調べ 軽自動車情報資料参照

貸切バス・高速バスにご乗車の際は シートベルト着用にご協力ください

道路交通法の改正により、平成20年6月からは後部座席におけるシートベルトの着用が義務づけられ、バスのお客様につきましてもシートベルトの着用が義務づけられています。

もとより安全運転に徹しておりますが、昨今の交通事情からして万が一のことが生じないとも限りませんので、法律の趣旨をご理解いただきまして、シートベルトを必ず着用していただきますようお願い申し上げます。

(社) 山梨県バス協会



お客様へ
**走行中はシートベルトを
着用してください。**
社団法人 日本バス協会

山梨県タクシー協会

運転免許返納者に対する 運賃割引のお知らせ

高齢化社会を迎え、国民皆免許時代に免許を取得した方々のうち、加齢による視力・聴力・注意力等々、身体機能の衰えにより自動車交通事故の加害者、被害者となる事故が県内では年々増加しており、大きな社会問題となっております。

そこで、山梨県タクシー協会では、高齢者の交通事故防止と新たな利用者の拡大を図るため、自主的に運転免許証を返納した場合、従前と変わらない移動をしていただくために、タクシー利用者に対し運賃を割引くこととしました。

実施期日：平成20年6月1日
実施地域：山梨県全域（会員93事業者中80事業者実施）
適用範囲：『運転経歴証明書』を提示して割引を申し込んだ場合に限り適用します。
割引の併用：運転免許返納者割引は、他の割引との併用はできません。
割引率：1割（10%）
割引の対象区間：運転経歴証明書持参者が乗車した区間。
その他：運転免許取消申請等については最寄りの警察署へお問い合わせ下さい。



自動車安全運転センター

SDカードSMを お持ちですか？

- 自動車安全運転センターでは、無事故・無違反証明書又は運転記録証明書を申請された方で、1年以上無事故・無違反の方にSD (Safe Driver) カードを差し上げています。
- SDカードには、無事故・無違反の年数により次の4種類があります。



ご存知ですか？ SDカードの特典

- SDカードをお持ちの方は、金融機関での「マイカーローン金利サービス」、「安全運転定期預金」、スーパーマーケットでのポイントサービス、ガソリンスタンド、レストラン、ホテル、遊園地、ゴルフ場、クリーニング店、自動車整備工場等自動車安全運転センターと契約している「SDカード優遇店」で割引等のサービスを受けられます。(使用日から1年以内に発行されたカードを対象)

〈お問い合わせ先〉

自動車安全運転センター山梨県事務所

南アルプス市下高砂825 電話 (055)285-2345 <http://www.jsdc.or.jp/>
FAX (055)285-2951

中日本高速道路株式会社

ETCを安全にご利用ください

- 1 ETCレーンでは、時速20km以下の安全な速度で通過してケロ。



ETCレーンには時速20km以下に減速して進入してください。また、走行中は十分な車間距離をとって安全走行を心がけてください。

- 2 ETCゲートの信号と表示板に、気をつけてケロ。



ETCレーンに進入する前に、信号が「赤」になっている場合は、ETC搭載車も通行できません。またレーン内の路側表示機が「STOP」の表示となる場合があります。その際はETC開閉バーの手前で停止し係員の指示に従ってください。

- 3 ETCカードの挿し忘れに、気をつけてケロ。



カードの挿し忘れや有効期限切れのカードでは、開閉バーが開きません。ETCカードは車載器にしっかり挿入し、正常に作動することを確認してからご利用ください。

中日本高速道路株式会社 八王子支社